

FPU Press Release

福井県立大学からのお知らせ

令和 7 年 1 0 月 3 1 日

報道機関各位

問合せ先

【内容について】

恐竜学部 教授 河部壮一郎

電話 0776-61-6000 メール kawabe@g.fpu.ac.jp

【取材申込について】

勝山キャンパス開設準備室 海道、吉川

メール katsuyama@g.fpu.ac.jp

ハイブリッド金属 3D プリンタ「LUMEX Avance-60」 を用いてフクイラプトル頭骨化石を製作しました

福井県立大学恐竜学部は、福井県福井市に本社を置く株式会社松浦機械製作所（以下、松浦機械製作所）と共同でフクイラプトルの頭骨化石を製作しました。製作にあたっては、本学が作成したフクイラプトルの 3D モデルデータをもとに、松浦機械製作所が開発したハイブリッド金属 3D プリンタ「LUMEX Avance-60」を活用して、1/1 スケールで高精度に出力しました。

製作した頭骨化石は、11 月 7 日より福井県立恐竜博物館 3 階の「恐竜学部オープンラボ」にて展示します。

つきましては、下記のとおり記者説明会を開催いたしますので、取材等にご配慮いただきますようお願いいたします。

記

1. 記者説明会日時：2025 年 11 月 7 日(金) 10 時 （同日より当面の間展示します。）

2. 場所・説明者：福井県立恐竜博物館 3 階 恐竜学部オープンラボ

福井県立大学恐竜学部 教授 河部壮一郎

(株)松浦機械製作所 取締役 松浦 悠人、技術本部長 松原 英人

3. 製作の背景と成果：

今回の取り組みでは、本学が所有するフクイラプトル頭骨の 3D モデルを提供し、松浦機械製作所が自社開発・製造するハイブリッド金属 3D プリンタを用いて原寸大で造形しました。世界的にもこの規模の造形を実現できる 3D プリンタは限られており、最先端技術による挑戦的な試みです。

恐竜という太古のロマンと、最新のものづくり技術である 3D プリンタの融合は、教育的意義に加え、地域発信の側面でも大きな意味を持ちます。特に、恐竜を地域アイコンとして積極的に発信している福井において、地方都市に拠点を置く企業が世界水準の技術に挑戦している姿を示すことは、今後の産業発展や人材育成にもつながるものです。

福井県立大学としても、恐竜研究の成果を社会と共有する新しい形として、本展示が多くの方々にとって学びと驚きをもたらすことを期待しています。



福井県立大学
Fukui Prefectural University

FPU Press Release

福井県立大学からのお知らせ

4. 頭骨化石サンプルの概要：

フクイラプトルは、福井県の発掘調査で発見された肉食恐竜で、日本で初めて全身骨格が復元された恐竜になります。

- ・サイズ : W 6 0 0 × D 2 2 0 × H 4 5 5 mm
- ・粉末材料 : AlSi 1 0 Mg (アルミニウム合金)
- ・造形時間 : 9 0 時間

5. LUMEX Avance-60 の概要：

この装置は、金属粉末を用いた レーザー焼結と、高速・高精度な 切削加工 を 1 台の機械に融合したハイブリッド金属 3D プリンタです。

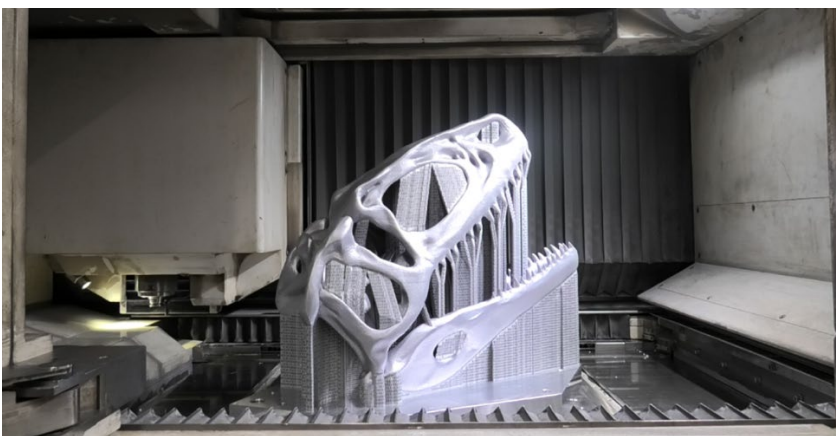
- ・方式 : ハイブリッド方式 (粉末床熔融結合法 PBF + 切削加工)
- ・最大造形サイズ : W 6 0 0 × D 6 0 0 × H 5 0 0 mm (ベースプレート含む)
- ・レーザー出力 : 1 kW (Yb ファイバーレーザー)
- ・主軸回転数 : 4 5 , 0 0 0 min⁻¹
- ・対応材料 : 金属粉末 (マルエージング鋼、ステンレス等)

6. 取材について

- ・取材を希望される場合は、11月6日(木)17時までに勝山キャンパス開設準備室までご連絡ください。

連絡先: 福井県立大学 経営企画部 勝山キャンパス開設準備室 メール: katsuyama@g.fpu.ac.jp

- ・当日は恐竜博物館本館出入口向かって左側の関係者出入口に9時50分までに集合してください。



造形直後の写真



サポート除去後の写真(展示品)



福井県立大学
Fukui Prefectural University